

本年度は、各分野における個性豊かな講師がさまざまな視点からトークを展開。笑いあり、気づきありのすばらしい講座となり、約1,100人が受講しました。

■生涯学習課 ☎57-7523



## ルールを守って！粗大ごみの一部回収

■環境対策課 ☎57-8508

事前に希望があった地区を対象に、「ごみ集積所」での粗大ごみの一部回収を10月に行いました。今年もごみ集積所で作業していただいた当番員さんに、アンケートをお願いしました。今月号では粗大ごみの一部回収について考えていきます。

### アンケート結果



家庭から粗大ごみを出すときに困っていることは？  
(複数回答可)

- 1位 有料である (33%)
- 2位 出す場所が遠方で不便(27%)
- 3位 出すための交通手段がない(10%)



粗大ごみの一部回収は必要だと思いますか？  
約92%の人が必要であると答えています。



今年から追加した「一部小型家電製品」の回収は必要だと思いますか？  
約87%の人が必要であると答えています。

昨年に引き続き、ごみ集積所での粗大ごみの一部回収は必要という声が多数を占めています

### しかし 一方で問題を指摘する声も上がっています!

- 回収日前にごみを排出する人が多く、チェックできない
- 三輪車や大型の健康器具、布団、パソコン等の違反ごみが増えた
- 当番員の負担が大きい
- 集積所のスペースに限界がある

など

来年は、対象品目の見直しを行い、よりよい方法に改善していきたいと思えます。

### そこで、お願い!!

- ①ごみは当日に！8時まで！
- ②対象品目を確認してください！
- ③大型の粗大ごみは出さないでください！
- ④必ず資源ごみの袋に入れて出してください！

### 年末年始のごみ収集

#### ▶燃えるごみ

- 12月30日(月)まで平常どおり回収
- 1月4日(土)野市町地区火・金が回収日のごみ集積所のみ回収(臨時)
- 1月6日(月)から平常どおり回収

#### ▶資源ごみ【カン類(金属類)・ビン・ペットボトル・プラスチック製容器包装】

- 12月30日(月)まで平常どおり回収 / 1月6日(月)から平常どおり回収
- ※夜須町(北部・国光・細川)の第1水曜日(1月1日)金属類は1月6日(月)に代換え
- ※香我美町(岸本・徳王子)の第1木曜日(1月2日)ビン類は1月7日(火)に代換え
- ※赤岡町の第1金曜日(1月3日)金属類は1月10日(金)に代換え

#### ▶粗大ごみ…平常どおり受け入れ

- ※12月21日(土)～23日(月)吉川地域一時保管施設でも受け入れ(臨時)

#### ▶布・紙類

- 12月28日(土)まで平常どおり回収
- 1月6日(月)から平常どおり回収

#### ▶し尿処理業務

- 12月27日(金)まで平常どおり受け込み
- 1月6日(月)から平常どおり受け込み

#### ▶香南清掃組合(可燃ごみ)

- 12月30日(月)まで受け入れ
- 1月4日(土)ステーション回収のみ
- 1月6日(月)から平常どおり受け入れ

天文学者

渡部 潤一

9.27 金

続々見つかる「第二の地球」候補 ～地球外生命発見への期待～



地球外生命の存在にはまず材料が必要で、水素、酸素、窒素、炭素です。水素は宇宙誕生時からあり、酸素、窒素、炭素は輝く星が作っています。次に水が液体の状態が存在することですが、それは宇宙の中でも限られた場所だけです。

地球が属する太陽系は天の川銀河の端にあり、宇宙には天の川銀河のような銀河はたくさんあります。1995年以降、太陽系以外の星の周りに惑星が大量に見つかり、第二の地球候補がたくさんあるとわかってきました。渡部さんたち天文学者は、知的文明を持つ生命の存在を楽観しています。



NHK大相撲解説者

舞の海 秀平

10.15 火

夢は必ず叶う

相撲の起源は1500年程前。江戸時代のヘアスタイル「ちょんまげ」は現在でも相撲には残っています。勝ち力士が行司から懸賞金を受け取る際の作法で、左右真ん中と手刀(てがたな)を切るのは三神に感謝する意味があるそうです。

身長が新弟子検査基準に達していなかったため、目こぼしを期待し出羽の海部屋から受けるも不合格となった舞の海さん。当時教員採用試験に合格しながらも大相撲入りをあきらめきれず、シリコンを頭に埋める手術をし、ようやく合格しました。夢はあきらめなければ必ず叶います!とご自身の経験を語られました。

探検家

高橋 大輔

10.18 金

極限に生きる～漂流民 野村長平を追って伊豆鳥島へ～



小説ロビンソン・クルーソーには実在するモデルがいて、4年4カ月を無人島で過ごしましたが、絶海の孤島、活火山、真水がない、食料は渡り鳥、木が生えていないため船や住居が作れないという過酷な鳥島で、12年間も過ごした野村長平のことはあまり知られていません。高橋さんは長平の偉業を世界中に発信したいと語りました。また、人生本当に困ったとき、最も大事なものは「心」であり、長平は大好きな人々がいる大好きなふるさとへの思いがあったからこそ帰還できたのではないか。90分では語り尽くせないほど長平への熱い思いがあふれていました。

フリーアナウンサー

近藤 サト

10.26 土

グレイヘア ～私らしさを表すのは『見た目』ではなく『何を選択したか』なのです～



「グレイヘアにするきっかけは、東日本大震災。リュックサックに白髪染めを入れ、老いに抗おうとする自身の姿に違和感を覚えた」と話す近藤さん。他人の評価によって自分らしさは作られるが、グレイヘアにするかしないかを含め、何を選択するかは自分次第。もうすぐ65才以上が総人口の3割を超え、これから高齢者の新しい生き方が問われています。人生100年といわれる時代に、若者たちが希望を持って暮らせるような大人のモデルを増やすことが、高齢者が尊敬される社会や魅力ある街づくりにつながると話されました。